

# 原村誌 上巻 目 次

口 絵

発刊のことば

原村長 菊地 八五郎

凡 例

目 次

第一編 自 然

第一章 位 置

第二章 地形・地質

第一節 地 形

第二節 地 質

一、八ヶ岳火山列の形成

二、阿弥陀岳の地質

三、扇状地堆積物

第三章 陸 水

第一節 降 水

水

第二節 河川と堰	二八
第三節 地下水	二五
第四節 溜池	四〇
第五節 水生昆虫（弓振川）	四一
第六節 藻類	四四
第四章 気象	五四
第一節 気温	五五
第二節 降水量	五九
第三節 風	六一
第四節 日照	六三
第五節 霜道	六六
第五章 動物	七三
第一節 諏訪における原村の動物相の位置	七三
一、村落耕作地帶	一
二、山地帶	二
三、亞高山針葉樹林帶	三
四、高山帶	四
第二節 哺乳類	七七
第三節 鳥類	八三
第四節 その他の動物	八五

## 第六章 植物

第一節 植物の分布	一〇五
第二節 植物と生活	一一七
第三節 植物目録	一三二

第七章 天然記念物	一七三
-----------	-----

## 第二編 原始古代

第一章 原村における考古学的調査	一八三
------------------	-----

第一節 第一期の考古学	一八三
第二節 第二期の考古学	一八三

第三節 第三期の考古学	一八九
第四節 第四期の考古学	一九三

第二章 原村の遺跡と遺物	二〇六
--------------	-----

第一節 概論	二一〇
第二節 村内の遺跡と遺物	二一〇

第三章 原始古代の原村の歴史	四一〇
----------------	-----

第一節 原村にきた初期の人たち	四一〇
-----------------	-----

一、日本列島の自然環境と文化のうつりかわり	一一一
二、先土器時代の原村	一二一
三、縄文時代のはじまり	一二一

## 第二節 原村に定着した人たち

四二二

### 一 縄文文化の発展

二、阿久集落での生活

三、巨大な阿久の墓地と祭りの場

### 第三節 原村で繁栄した原始の人たち

四三三

### 一、山麓縄文文化の繁栄

二、尾根に展開した原村の縄文中期遺跡

三、大石集落と居沢尾根集落

### 第四節 原村を去つていった人たち

四四七

### 一、山麓縄文文化のおわり

二、農耕文化の波にとりこされた原村

### 第五節 山麓の開拓に入った人たち

四五三

### 一、古代の諏訪と原村

二、急増した八ヶ岳山麓の遺跡

三、再び無住化する山麓の村

## 第三編 中世

### 中世の諏訪と原村の歴史

四六九  
四六九  
四七二

はじめに

### 第一章 鎌倉時代の諏訪

四七二

### 第一節 荘園諏訪社神人の武士団化

四七二

### 第二節 鎌倉幕府と諏訪上下社大祝の活躍

四七六

### 第三節 御射山祭と神野

四八〇

### 第四節 關廬社と秋尾御狩

四九〇

## 第二章 室町時代の諏訪………

四九五

### 第一節 中先代の乱と原山………

四九五

### 第二節 南北朝の争乱と諏訪社の動向………

四九七

### 第三節 上社御射山祭と信濃諸郷の御頭奉仕………

五〇〇

### 第四節 諏訪上下社の抗争と諏訪惣領家の台頭………

五〇二

### 第五節 諏訪の災害と原山………

五〇五

### 第六節 諏訪郡内の交通路および市場………

五〇七

### 第七節 諏訪と甲斐との抗争………

五一〇

## 第三章 戦国時代の諏訪………

五一二

### 第一節 諏訪頼満と武田信虎………

五一二

### 第二節 諏訪頼重と武田信玄………

五一七

### 第三節 信玄の諏訪領有………

五二三

### 第四節 信玄の諏訪統治………

五二六

### 第五節 信玄の諏訪社信仰………

五三二

### 第六節 信玄の棒道………

五三五

### 第七節 武田勝頼とその滅亡………

五四三

## 第四章 中世諏訪地方の寺社信仰と民衆………

五五一

### 第一節 諏訪における禅宗の伝播………

五五一

第二節 諏訪社と神宮寺・御柱祭等.....五五五

第四編 近世

第一章 高島藩の藩政.....五六一

第一節 藩体制の確立.....五六一

第二節 藩体制の動搖.....五六六

第三節 藩政の立てなおし.....五七二

第四節 藩体制の崩壊.....五七九

第二章 原山新田の開発.....五八四

第一節 藩の開発政策.....五八四

第二節 原山九ヶ新田の成立.....五八四

高島藩新田一覧表.....六一八

第三章 檢地と貢租.....六二二

第一節 高島藩の検地.....六二二

第二節 原山八ヶ新田の検地.....六四五

第三節 本途物成.....六五〇

第四節 小物成と運上.....六七〇

第五節 課役と高掛物.....六七三

第四章 村のしくみ.....

六八一

第一節 高島藩の村落規制と村定.....

六九五

第二節 村の構成.....

原村地域の各新田における人口動態表.....

七〇二

第三節 村役人の組織と機能.....

七四〇

第四節 村の財政.....

七六四

第五節 村のくらし.....

七八四

第五章 農業と農間稼ぎ.....

七九五

第一節 農業.....

七八四

第二節 農間稼ぎ.....

八一八

第三節 因作と救恤・備荒.....

八二八

第六章 原村の用水と汐.....

八四一

第一節 湧水と揚げ汐.....

八四一

第二節 明和期の用水紛争.....

八四八

第三節 安永朝の動向.....

八五四

第四節 天明 寛政期の繰越汐.....

八六一

第五節 文化・文政 天保期の用水の細分化.....

八八一

第六節 汐普請と水利慣行.....

八九四

第七章 原村の林野と入会

九〇五

第一節 御林とその利用

九〇五

第二節 入会山

九一七

第三節 家中林

九六三

第四節 百姓林の成立と林検地

九七〇

第八章 交通と運送業

九八〇

第一節 交 通 路

九八〇

第二節 助 郷

九八四

第三節 中 馬

九九七

第四節 庶民の旅行

一〇一四

第九章 原村の文化

一〇一二

第一節 寺子屋と筆塚

一〇二二

第二節 神 社

一〇三二

第三節 寺 堂

一〇三九

第四節 修 驗

一〇四二

第五節 芸能と娛樂

一〇四五

第六節 講と庚申信仰

一〇五〇

第七節 石造物と仏像

一〇六〇

第八節 近世の諏訪神社

一〇八三

付録

原村地域の検地一覧表

年表

原村史年表

(先土器より江戸時代まで)

あとがき

原村誌編纂協力委員名簿（昭和四十六年現在）

原村誌編集委員会名簿

原村誌編纂指導顧問・顧問

原村誌編纂委員会名簿

原村誌編纂編集委員会事務局名簿

原村誌上巻執筆者一覧